

北海道学び推進月間の取組

胆振教育局
令和2年12月17日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ むかわ町の小・中学校、高等学校、教育委員会の取組

小・中学校、高等学校で行う「むかわ学」

「むかわ学」は、平成29年度から北海道鶴川高等学校の魅力ある教育の一環として、「郷土のことを学び、理解する」ことを主な目的として実施してきましたが、その後、むかわ町内の小・中学校にも広め、令和2年度からは、むかわ町内の全ての小・中学校、高等学校で実施しています。



【鶴川高等学校生徒の漁業体験の様子】

また、むかわ町教育委員会では、むかわ町の農業、観光、文化活動等【鶴川高等学校生徒の漁業体験の様子】についての独自の「むかわ学配信動画」を作成し、児童生徒はもとより町民に対しても、情報発信しています。

取組の成果としては、児童生徒が郷土の理解を深め、郷土への愛着をもつとともに、情報収集やまとめ・表現をする際に、地域の人たちと関わりをもったことにより、コミュニケーション能力を高めたり、自己肯定感を高めたりすることができました。

○ 北海道秋の学び推進月間の取組

学校と町立図書館の連携（厚真町青少年センター図書室、厚真町立厚南中学校）

学校と市町村立図書館とが連携し、学校図書館を活用した授業の充実など、学校図書館の効果的な活用に資することを目的として、厚真町青少年センター図書室（以下図書室と標記）と厚真町立厚南中学校が、域内の学校図書館担当職員や教職員等を対象に道教委のモデル事業「令和2年度小・中学校と市町村立図書館の連携『公開研究発表会』」を開催しました。2学年社会科の公開授業では、事前に授業者が図書室の図書室司書と連携し、生徒自らが円滑に課題解決できるよう、学習内容や活動



【公開授業の様子】

に対応した図書を準備し、生徒が限られた時間の中で学びをより深める授業を展開しました。参加者からは、「各教科等を横断的に捉え、学校図書館を活用していきたい」「さらに図書室と連携を深め、学校のみならず、地域住民も利活用できるように整備したい」などの感想がありました。

今後は、生徒対象のアンケートを元に、取組の成果や課題を把握したいと考えています。

「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 北海道伊達高等学校2年 三島 陸 さん

「その努力 明日に役立つ たからもの」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 伊達市立伊達小学校5年 奥山 琴音 さん

「勉強は 夢と未来の 道しるべ」

白老町立白老中学校2年 村岡 勇弥 さん

「学びとは 新たな自分を 探すかぎ」

北海道室蘭東翔高等学校1年 伊藤 梨乃 さん

「咲かせよう 未来をつくる 努力の花」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。